



# KAGOSHIMA Y'S MEN'S CLUB

No.346 2019

鹿児島ワイズメンズクラブ

5  
月号

国際会長	Moon Sang Bong [韓国]	Yes, we can change. 「私たちは変えられる」
アジア会長	田中博之 [東京多摩みなみ]	Action 「アクション」
西日本区理事	遠藤通寛 [大阪泉北]	Let's Protect and Cultivate What Should Be Passed on to the Future. 「未来に残すべきものを守り育てる」
九州部部长	上村眞智子 [熊本ジェーンズ]	Let's become the Y's Men to convey the charm of Y's, the power of Y's, the activities of Y's. 「ワイズの魅力を、ワイズの力を、ワイズ活動を伝えるワイズメンになろう!」



鹿児島クラブ会長 松永 英明 「楽しもう鹿児島クラブ! 輝こう鹿児島クラブ!!」

## 「熊本ひがしクラブ15周年・熊本スピリットクラブ5周年記念例会」 「熊本にしクラブ・熊本ネクサスクラブの10周年記念例会」

4月1日月曜日19時から、ホテル熊本テルサにて熊本ひがしクラブ15周年、熊本スピリットクラブ5周年の合同例会が開催されました。九州部から70名の有志が集まりました。この両クラブは、ひがしクラブが親クラブでスピリットが子クラブの関係にあります。ひがしクラブの親クラブはジェーンズクラブだそうです。両クラブの設立準備からの思い出話には大変感銘を受けました。両クラブの今後の活躍を祈念致します。

また、4月27日土曜日15時からANAクラウンプラザホテルにて熊本にしクラブ・熊本ネクサスクラブの10周年例会が開催されました。こちらも九州部はもちろん、京都部、中西部、六甲部、東日本区、また、IBCを結ばれている台湾からも駆けつけて160名を超える有志が集まりました。一番感動的だったのは、設立に貢献されたメンバーへのセレモニーでした。夫婦で登壇し、当時の思い出話をまわりからちゃかされながらも愛情溢れる感動的なセレモニーでした。両クラブの今後の活躍を祈念致します。



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT

# 会長通信

鹿児島クラブ会長 松永 英明

# 11

## 楽しもう鹿児島クラブ! 輝こう鹿児島クラブ!

日中は汗ばむほどの陽気となり、夏の近いことを実感する季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。日頃のワイズダムへのご奉仕に心より感謝申し上げます。

今年のGWは、楽しく過ごされましたでしょうか。私は、ゴルフ三昧のGWでした。数年ぶりのゴルフで、練習場にも行かず、ほとんどぶっつけ本番状態。いいスコアが出るわけもなく、リフレッシュどころかストレスと筋肉痛のGWとなりました。毎日毎日コツコツと、日頃から練習しておけばよかったと反省と後悔の休日でした。

最近では、改めてワイズ活動も同じことのように感じています。日頃からコツコツとアンテナを張り巡らし、情報を得て行動をおこす。簡単なようですが、社会貢献、奉仕活動。意識しないとなかなか出来るものではありません。ワイズの理念に基づき活動を続けていく難しさを感じています。鹿児島クラブにおきましても、歴代の会長の想い、考えを、過去のブリテンを通して確認し、また、各クラブのブリテン、仲間とのコミュニケーションを通して絆、信頼関係。そして、各事業を続けること、受け継ぐことの大変さを会長をさせていただいたことで改めて痛感しているところです。会長職は基本、単年度です。限られた任期の中で、ワイズの活動理念をもとに今期の活動計画を立てる。実行する。歴代の会長達は鹿児島クラブの歴史を築いてきました。私も30年目に向けて、色々なことを自分なりに整理し、次期会長に引き継いでいただけるように準備をしていきたいと思っています。

来月の22、23日は、京都に於いて西日本区大会が開催されます。久しぶりの参加になります。鹿児島からは3名の参加になりますが、楽しんできたいと思います。

あと残り1ヶ月の任期となりましたが、責任を持って職に全うしたいと思います。最後の最後までご協力のほど宜しくお願い致します。

皆様が、ますますお元気で活躍くださいますようお願い申し上げます。

# 理事通信

西日本区理事 遠藤 通寛

# 11

## 未来に残すべきものを守り育てる

私の生まれ育った街のシンボルは藤の花です。

今頃、藤祭りを開催していることでしょうか。同窓会の名称も藤花同窓会、そしてお土産は藤もちと、藤にちなんだものばかりです。

私もメネットも5月生まれで今月は少し気持ちが高揚します。

ちなみにメネットの誕生日は11日です。この日は富士にて新しいクラブが誕生いたします。

名称は「とやまワイズメンズクラブ」です。20名を目指して、後少しのところまできているそうです。

すでにたくさんのワイズメン、メネットがチャーターナイトに申し込まれています。皆様いっしょに「とやまワイズメンズクラブ」にエールを送りましょう。

このクラブの活動は、きっと全国のワイズメンズクラブの今後のあり方の参考になることでしょう。

もう彼らは次の目標を立てておられるかも知れません。お話を聞くのが楽しみです。

先月、台湾で地震が発生し、大変心配されました。

発生の翌日、台湾区事務所等に確認いたしましたが、人的な被害はなかったようです。

また、YMCA同盟の確認でも関係者に被害はなかったようです。しかし台北ではかなり揺れて怖かったそうです。

熊本での地震から3年、大阪北部地震ももうすぐ1年、被害はいつどこで起こるか判りません。

再度自身の防災対策を検討して見ます。皆様もいかがでしょうか。

昨年のお阪北部地震ではメネットが自宅マンションの扉を真っ先に開けました。私より数歩先を行っているようです。



# 5 企画例会報告

Planning meeting report

日 時：令和元年 5 月 14 日 火曜日  
 19：00～21：00  
 場 所：旧 珈琲館かみむら  
 出席者：神村、中堀、園屋、  
 徳田、松若、松永



## 今月の樹

### クスノキ(楠)

▲クスノキの花

日本の暖地の代表的な木である。特に神社によく植えられ、大切に保存されたものは巨木に成長している。九州地方に楠の巨木が多く、鹿児島 蒲生の大楠は幹周24.2mで、日本最大の巨木である。楠の幹や葉を切ると樟腦のにおいがするが、楠は腐食や害虫に強く長寿である。蒲生の大楠は樹齢1500年と言われる。クスノキの花は目立たないが、近寄ってよく見ると、つぼみの開いた花には、ちゃんと6枚の花弁と12個の雄しべがある。クスノキ科の木は、クロモジ、ヤマコウバシ、ダンコウバイ、アブラチャン、月桂樹などがあるが、いずれも花全体が半透明の黄緑色で、似ていることが解る。学名はCinnamomum camphoraで、クスノキ科クスノキ属である。cinnamic acid (桂皮酸) や camphore (樟腦) は化学者になじみ深い名前である。

# 4 定例会報告

Regular meeting report

日 時：平成 31 年 4 月 23 日 火曜日  
 場 所：ジェイドガーデンパレス  
 出席者：15 名  
 司会者：坂口ワイズ

4 月 例 会 の 記 録	クラブ在籍者	14名
	出席者	13名
	メネット	1名
	ゲスト	0名
	ビジター	1名
	メイクアップ	0名
	4月出席率	92.9%

献金有難う  
もじゃげます。

## 4月 合計金額

# ¥4,000

2019

# 5 月の聖句

「人を罪人だと決めるな。  
 そうすれば、あなたがたも罪人だと決められることがない」

ルカ6章・37節

## 鹿兒島ワイズメンズクラブ

チャータ 1990 年 2 月 12 日  
 事務所 〒890-0056  
 鹿兒島県鹿兒島市下荒田3丁目43-7 1F  
 鹿兒島 YMCA 内  
 定例会 毎月第 4 火曜日 場所：ジェイドガーデンパレス  
 企画例会 毎月第 2 火曜日 場所：旧 珈琲館かみむら  
 (時間は企画例会・定例会とも 19：00～21：00 まで)

6月 企画例会  
 日 時：6/11 (火) 19：00～21：00  
 場 所：旧 珈琲館かみむら

6月 定例会  
 日 時：6/25 (火) 19：00～21：00  
 場 所：ジェイドガーデンパレス



# チアダンス世界選手権大会 「The Dance Summit」を終えて



YMCAチアダンススクール開校10年という節目を迎える年に、小中学生で編成されたマーベラスが、チアダンス世界選手権大会「The Dance Summit」に初出場しました。

現地時間5月4、5日に米国フロリダ州オーランドのディズニーワールド内で開催された同大会は、世界各地のチアダンス競技運営団体から選されたチームが集結し、年代やチーム人数によって部門が分かれて世界一を競いました。マーベラスは中学生以下15人未満の部門に出場し、準決勝を3位で通過、翌日の決勝でも3位入賞という成績を得ることができました。

マーベラスは、3月に行われたチアダンス全国大会で第2位を獲得。小・中学生283チームの中から私たちも含めて3チームが主催団体からThe Dance Summitの出場推薦をいただきました。8年前に、チアダンスを一生懸命楽しむ子供たちの世界を広げてあげたいと経験させてみた競技大会。同じチアリーダーたちと積み重ねてきた技術を競い合うことに喜びを覚えた子供たちは、ディズニーワールドで踊れる大会の存在を知り、無謀にもそのころから目標としてきたのが世界大会でした。大きな目標を胸に抱いた子供たちは、初めて競技大会にチャレンジした翌年から7年連続で全国大会に出場、全国大会に出て2年目からは大会で入賞するようになり、昨年は全国制覇するまでになりました。彼女たちの活躍は、いつしかメディアからも注目を受け、イベントにたくさん呼んでいただけるようになり、鹿兒島YMCAが取り組んでいることを周知させることになりました。

無謀と思われた大きな目標に向けて、日々の努力を怠らないうちに成長してくれた子供たちに感謝するとともに、技術以上に心の成長を大事する私たちの指導を受け止め続け、ついてくれた子供たちを誇りに思います。酷なことだったかもしれませんが、世界大会が終わった直後、次の一步をどう踏み出すかが重要だと話したときに目を輝かせて受け止めてくれたことに、これから先もっと大きなことを成し遂げるのではないかと期待してしまいます。

このような素晴らしい経験ができたことを糧に、子供たちともっともっと成長していきたいと思えます。

(文責：新内博之、容子)